



菅原 榮志さん(73歳) 貞子さん(73歳) 中田町・表 昭和38年入籍

健康が一番。もっと旅行したいね

★結婚当時の思いでは 【榮志】 仲人の紹介で結婚しました。農業しながら、東京や神奈川、愛知に出稼ぎに行っていたので、家に居ることが少なかったね。 【貞子】 同じ石森から嫁いできました。自分の家や他の家の田を手伝っていましたね。子どもが居たけど、おばあさんに面倒を見てもらったので、助かりました。 【印象深い出来事は】 【榮志】 旅行が好きで、昨年、京都の嵐山に行きました。お寺巡りで2時間歩いたので、疲れたね。 【貞子】 大阪の造幣局で期間限定で「桜の通り抜け」とい

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

尽きることがないふるさとへの思い

登米市市制施行10周年おめでとうございます。記念式典には、在京町人会の各会長と共に出席させていただきました。式典では、大勢の来賓や布施孝尚市長のあいさつがあり、登米市の歩みや少子高齢化問題、多くの支援対策など重要課題に全力を尽くしてきた市政に心打たれました。今後も歩みを止めずに頑張っていきたいと思います。ふるさとを思うと、懐かしい思い出がたくさん浮かび上がります。毎月送られてくる「広報とめ」。市内9町の出来事が掲載されているので、とても楽しみにしています。

佐藤 順二さん(75歳)

登米市在京町人会連絡協議会役員、東京米山会会長 米山町出身



私の生まれ育った米山町は、迫川、新川に囲まれ、広大な田園地帯が広がっています。米山に春を呼ぶ10万株のチューリップ。町の代表的な風物詩であり、咲き誇る姿は見事なものです。米山で採れるお米は、都会の人たちに大好評で、私もうれしく思っています。 東京米山会が発足したのは昭和59年3月。東京都千代田区にある東京麹町会館で開催した設立総会には、181人の会員が参加しました。あれから32年たった今でも、ふるさとのお話が尽きず続いています。今年の3月に、第32回東京米山会の総会・懇親会を東京都江東区にあるアンフェリシオンで開催しました。懐かしい母校校歌を歌ったり、思い出話に花を咲かせたりと、参加者全員がふるさとをしのびました。また、震災復興に少しでも役に立てればと、米山の物産販売を行いました。住み慣れた地域で、安心して暮らし続ける日々の生活に大きな爪痕を残した大震災。今でも振り返ると、胸が締め付けられるような思いです。今後も微力ながら復興に協力したいと思っています。 最後に皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

おらほの道の駅

道の駅みなみかた 「もっこりの里」



野菜づくり体験会 「もっこりあぐりチャレンジ」

※5月から農業未経験者を対象にした野菜づくり体験会「もっこりあぐりチャレンジ」を開催中。野菜の作り手をじっくり育成し、生産者を増やしていくことが目的。気軽に参加できる内容ですので、詳しくは道の駅みなみかたまでお問い合わせください。



駅長 永浦 敬悦さん ※写真は、職場見学で来た小学生の質問に答える永浦駅長

今月は、南方町にある道の駅「もっこりの里」の永浦駅長にお話を伺いました。 Q道の駅「もっこりの里」の特徴やお勧めなものを教えてください。 当駅のキャッチフレーズ「もっこり」とは、地域が盛り上がる様子をイメージしたものです。ここから日本中にやる気と元気を届けたいという願

いが込められています。 お勧めは、生産量県内1位の「もっこりにら」ですね。肉厚で柔らかく甘みがあり、すので、ぜひご賞味ください。また、店内にある農村レストラン「野の花」では、採れたての野菜を使ったバイキングのほか、登米産牛を使用した牛丼セットが大好評。パン工房「菓音」では、ブドウパンやトマトバジルパンが人気です。 毎週日曜日に、「週がわりのひとくち会」を開催しています。生産者が自分で栽培した食材を使った料理のレシピを紹介、試食販売をします。



6月28日に開催された「週がわりのひとくち会」。武田あさ子さん(南方町大門)がジャガイモの素揚げを作り、生産したジャガイモをPRしました。

Q今季節、お薦めの農産物を教えてください。 今季節、伊豆沼れんこん(8月~3月)、モモやブルーベリーなどがお勧め。伊豆沼れんこんは、もっちりとした口あたりが特徴です。 【問い合わせ】 道の駅みなみかた「もっこりの里」 ☎0220(58)3111

まちの文芸 短歌

作品募集! ●9月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、7月31日までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。●応募者多数の場合選考して掲載します。

森閑の深山に映ゆる花吹雪 オオヤマザクラ樹命つないで 思うこと言ひきれずわが黙しあて つぎはぎだらけの心に出あふ かつこうの初音聞こゆる仏前に 亡夫に告げたり田植え終えしと お盆まえ咲いてしまおうと話しかけ 亡き姑徳ぶ桔梗を供える 長年を吾に馴染みしこの砥石 手の癖ありあり薄くなりたり

及川 慎一 (中田) 熊谷たかよ (中田) 熊谷てる子 (中田) 佐々木恒子 (中田) 千葉 源治 (中田)

帯ほどき陣羽織作れば笠買ってと ねだる曾孫の顔いとしかり 雨上り一際冴えし紫陽花に 身心洗われしはし見とるる 雷鳴の三度とどろき雨と風 去りて忽ち日差し戻りぬ 遅れるよ鍵は財布は外出時 どたばた探す近頃の常 爺よりも大きくなったと二才児の 座椅子の縁に爪立ちて言う

阿部ふみ子 (米山) 石崎よしの (米山) 折居由紀子 (米山) 佐々木康子 (米山) 水野トヨコ (米山)

応募総数 15 作品